



千の手

犬山

つが お かのん
繼鹿尾観音

寂光院

寂光院 内仏堂

秘仏ご本尊千手観音「胎内仏」安置

へ御宝塔へ（江戸時代初期）

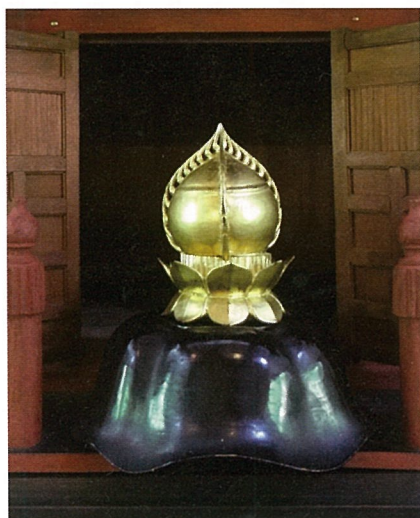
解体修復事業・完了



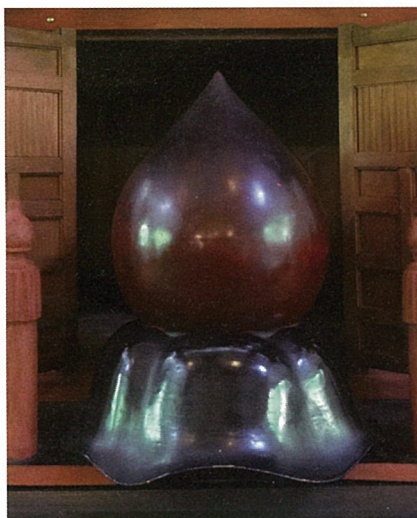
如意宝珠型厨子

「秘仏千手観音・胎内仏」安置

御宝塔の中には「秘仏千手観音・胎内仏」が安置されています。極めて厳重に管理され、先ず「根来塗の如意宝珠型厨子」に納められています。その中に更に「金箔の如意宝珠型厨子」が納められています。その中に一寸八分の「秘仏千手観音・胎内仏」が安置されています。毎年三月五日に御参詣の皆様は特別公開されます。三大行事の一つで「秘仏観音・おいただき」と申します。詳しくは六頁下段を参照ください。



金箔如意宝珠



根来塗 如意宝珠



内仏堂に安置された御宝塔

◎ご祈祷には順序があります

まもなく八月九日「九万九千日功德万倍日」を迎えます。酷暑の中のお参りですが、功德が万倍になると伝えられ、悪病や厄難を払い、福德を招来する「特別大護摩祈祷」が厳修されます。

さて、ご祈祷には順序次第がございます。まず、御祈祷を受けるにあたって必ずお清めの作法があります。これは「本来の自分（誰にでも備わっている『仏性（仏としてのDNA）』、『仏心』）に戻る作法です。その仏心で仏さまと対話をする、これではじめて「祈り」が成り立ちます。（ご祈祷を修する導師や僧衆がそのお清めの作法を正確に執り行うのは言うまでもありません）

次に導師はご本尊様に祈願文をお唱えします。この祈願にも順序があり

生かされて生きる
「お加持」

犬山・寂光院山主

まつ だい
松 平 じつ いん
實 胤

「命よりも大切なものがある」というのが仏教の大前提です。命は「息の力」です。私は今息をしています、この息は生まれた瞬間から始まるものではありません。親のない子供はいませんか、息の力はずっと繋がっていて、いまだかつて絶えたことがありません。例外なく、どなたの（息の力・命）も命の本源、大いなる命、大いなる宇宙にまで繋がっています。無限ともいえる限りない時の流れ、はかり知れない条件がこの私の命を支えて下さっているのです。

今なお一時も休まず、天地自然をはじめとするすべての環境、全ての人、モノ、条件が私を支えて下さっています。このお支え無くして私たちは生きていけません。この私を支えて下さる全てを仏格化して「仏」といいます（それを日本人は「おかげさま」と表現してきました）。私たちは決し

ます。まず「天下泰平（世界平和）」を願い、次に「風雨順次（本来の季節の巡り）」、「五穀豊穡（天地の実り豊かなこと）」、「万民豊楽（すべての人が心豊かに幸せであること）」を祈願するのです。私たちは煩惱のゆえに常に利己的で、自分の内にしか向かない眼を持っていますが、先ず広く外に向ける、その崇高な願いの上に、自分の願いも浄化されるのです。

◎続いて導師は加持祈祷の神髄に迫ります

加持祈祷の加持は「加える」と「持つ」という二つの動詞からなる熟語です。動詞は必ず主語を必要とします。誰が何を加えるのか、誰が何を持つのか、です。

さて、人間にとって一番大切なものは命に決まっています。しかし、

で自分で生きているわけではありません。仏さまに生かされて生きています。加持の加は「仏さまが私たちを生かそう、よくしよう、よくなつてほしいとあらゆる力を加えて下さる」、加持の持は「私たちが『仏さまに生かされて生きている』ということに気付き、その仏さまの願い応えて前向きに生きる勇気を持つ」ということです。

加持祈祷のご利益はまず第一に「俺が生きる」というおごりを振り払い、安らかなる心でどんな条件のもとでも、今ここを精一杯前向きに生ききる「生きる力」を頂戴する事であります。

「悪病厄難を払う」とは様々な原因で低下している「自然治癒力・免疫力」という「生きる力・生命力」を回復する力を戴く事であります。

慶

祝

松平實胤山主

菩提院結衆・列座

慶

祝

村上太胤師

奈良 薬師寺管主 ご就任

寂光院は真言宗智山派に属します、総本山は京都東山七条の「智積院」で、千葉の成田山新勝寺、神奈川の川崎大師平間寺、東京の高尾山薬王院の三大本山をはじめとして全国に三千の末寺があります。宗祖は空海・弘法大師、開山は覚鑑・興教大師です。覚鑑上人は、空海弘法大師ご入定（八三五年）後、次第に荒れ果てていく高野山を復興、弘法大師の教えを立て直し「今弘法」と慕われ、真言宗中興の祖（興教大師）と尊ばれます。後、高野山麓に根来寺をお開きになり、更に弘法大師の教学振興に力を尽くされますが、四十九才の若さで入寂されます。この覚鑑上人の流れをくむのが後の京都の智積院（智山派）と奈良の長谷寺（豊山派）です。

覚鑑上人は、一一四三年十二月十二日、根来山円明寺西の廂に、端然と座られ、密厳浄土の中方に向かつて即身成仏の秘印を結ばれて静かに入寂されました。私たちがお参りする「興教大師像」はその時のお姿であります。さてそのあと、ご遺体は茶毘に付されますが、その茶毘所の後に建てられたのが菩提院です。覚鑑上人亡き後、毎年十二月十二日の御命日には、覚鑑上人への報恩謝徳のために、根来寺の upper の僧侶が菩提院に結衆したそうでございます。これが「菩提院結衆」の由来となっております。

現在では「菩提院結衆列座」といいますと、『真言宗智山派の upper に列する』という意味で、真言宗智山派では大変名誉なこととされています。

松平實胤山主は平成二十八年十二月七日総本山智積院におきまして管長猊下より、「菩提院結衆」に任ぜられ、同十二月十二日覚鑑上人の御命日法要、報恩講に出仕いたしました。

任菩提院結衆

権大僧正 松平實胤

平成二十八年十二月十九日



真言宗智山派管長

大僧正 小峰一允

菩提院結衆辞令親授式



小峰一允 管長

松平實胤 山主



大講堂で晋山の挨拶をする村上太胤師



晋山式を終えて笑顔の村上太胤師

平成二十七年八月九日発行の本紙に、「**實胤さん**あなたは奈良の？」と題して「畏友、奈良薬師寺副住職・村上太胤師、新緑の美しい五月二〇日（来山）の日の様子を掲載いたしました。

薬師寺の村上太胤師と私は四〇年来の畏友ですが、また、村上太胤師の「胤」と、松平實胤の「胤」は、先々代からの不思議な法縁があります。（詳しくは「千の手」五十三号をご参照ください）

この度、村上太胤師は薬師寺の副住職から、薬師寺の貫主に就任され、その晋山報告法要が平成二十八年十一月二〇日に厳修されました。松平實胤山主もお招きを受け参列いたしました。日本を代表する「薬師寺」の晋山式ですから、まこと比類のない盛儀でした。

村上太胤師のますますのご活躍を衷心よりお祈りいたしました。

御奉納 敬称略

◎西国三十三観音霊場・納経御朱印

二曲一双屏風

春日井市 丹羽幸子



各霊場のご詠歌朱印

各霊場のご本尊朱印

◎釈尊涅槃図 軸装

寂光院写仏教室（毎月第三土曜日）

講師・前田道雄&受講生一同による作品



作品



軸装



寂光院の「もみじ樹木葬地」は、
寂光院が好きで自然志向の皆様方、
お墓の継承や無縁化が心配とお考えの方、
紅葉のもとで自然に還る、新しい形の永代供養墓です
＜詳細は寂光院事務所まで＞

春は花、夏青もみじ、秋は紅葉、冬凜として霊気漂う
県下最古刹1360年の歴史、国定公園という緑豊かな自然
尾北随一「春の爽やかな青もみじ、秋の雅なまでの紅葉樹林」に囲まれた

も み じ 樹 木 葬 地



寂光院友の会 千手会

心豊かに生きる喜び

寂光院は交通至便の処にありながら大自然に囲まれ、清爽の気が漂う、愛知県下最古の千手観音さまの霊場です。昨今「天下のパワースポット」として若人に人気で参詣する人々に「安らかな心」「生きる勇気」をプレゼントします。「千手会」は寂光院の本尊様である千手観音さまから戴いたお名前です。

千手会の催事

(非会員の方も参加費をご負担下されば聴講できます)

やすらぎ説法

- 行催日 毎月第2日曜日
- 時 間 午前11時～12時半
- 場 所 聖徳殿
- 講 演 松平實胤山主

仏教に学ぶ 仏教を体験する

[千手会に入会ご希望の方は裏表紙(8頁)をご覧ください]



8月9日(水)

12:30開場 13:00開演
九万九千日記念講演会
「楽しい仏教教室」
ひろさちや先生



11月12日(日)

10:30開場 11:00開演
千手会総会・やすらぎ説法&
「やすらぎライブコンサート」
出演 ムーンリット・ガーデン
ヴォーカル 甲斐英子
シンセサイザー 吉田奈津



11月26日(日)

10:30開場 11:00開演
桂文治独演会



— お出かけ案内(月例行事)仏教を体験する —

5日	10:30	なな 七七月まいり ずいぐ 随求菩薩ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
18日	10:30	なな 七七月まいり 千手観音ご縁日 大護摩祈祷、やすらぎ法話
	14:00	ご詠歌教室〈仏さまにお唱えする〉 講師 松平實城僧正(名古屋・福生院住職)
第1日曜日	11:00	阿字観(瞑想)&ブチ写経&ブチ法話 静かな仏前で本来の自分に会おうとき!
第2日曜日	10:00	お写経〈般若心経を読む書く〉
	11:00	やすらぎ説法(上記参照)
第3土曜日	13:00	写仏教室〈仏さまを描く〉 講師 前田道雄先生(中日文化センター講師)
第4日曜日	11:00	お写経の集い〈般若心経を読む聞く書く〉

阿字観・お写経は上記に限らずいつでもご用意しておりますのでお電話下さい(要予約)

お問い合わせ 0568-61-0035

詳しくは

犬山寂光院

検索



平成二十八年 九万九千日記念慈悲行

秘仏本尊千手観音「胎内仏」安置

「御宝塔」(江戸時代初期作)

解体修復完了

当山の最重要什物で、秘仏ご本尊の「胎内仏」をお祀りする「御宝塔(高さ一五〇cm・幅七五cm角)」は左ページ各企業、ならびにご信徒のご協賛により、見事に蘇りました。平成二十九年二月十八日に、内仏堂の本来の場所にお戻りになりました。衷心より御礼申し上げます。

(表紙写真・参照)

平成二十九年 九万九千日記念慈悲行

(三十三観音記念年)

「千体観音堂」 内陣修復

当山ご本尊千手観世音菩薩は秘仏にして、六十年に一度「甲子歳」に御開帳を奉修してまいりました。昭和五十九年が甲子歳で、それを記念して、山門前に御信徒よりご奉納戴きました千体の小観音様をお迎えして「千体観音堂」を建立、以来寂光院に参詣される皆様方の一番身近なお堂となりました。今年には建立三十三周年、まさに三十三観音といわれる如く観音様の記念年に当たります。そこで、次の三十三年にむけて内陣を修復して、観音様への報恩行といたしたくここに発願いたしました。

皆様方のご信援ご協賛を何卒宜しくお願い申し上げます。

寂光院山主 松平實胤



寂光院・三大祭

◎一月十八日

「初観音・大祈願会」

清新の靈気みなぎるお正月の十八日は「初観音」様と申します。観音様から一年のご加護と福德を授かる最上功德日です。吉例により特別大護摩祈禱を奉修して、世界平和を願ひ、皆様の家内安全、商売繁盛、所願成就を御祈禱申し上げます。

◎三月五日

「秘仏観音・おいただき」

「おいただき」とは文字通り、両掌の上に秘仏千手観音様を頂戴すること、心に観音様をお迎えし、福德を招来するのです。日常生活では仏さまを手に載せる、あるいは、まじかに拝む機会はありませんが、一年に一度この日この時に、是非ご参詣下さい。



◎八月九日

「九万九千日功德万倍日」

八月九日は、継鹿尾の観音様にお参りすると、九万九千日分の功德が戴ける日で、観音様の最多功德日と申します。悪病や厄難を払い、福德を招来する特別大祈禱を奉修して、大護摩礼並びに福扇を授与いたします。



福扇

祈禱札

貴家、貴社に「福の風」をお迎えください

平成二十八年年度 九万九千日記念慈悲行 順不同敬称略

◎慈悲会員

大口町
福玉精穀倉庫(株)

小牧市
福玉(株)

江南市
福玉米粒麦(株)

大口町
福玉ロジステイクス(株)

小牧市
(株)アルヴェスタ

犬山市
木村内科

名古屋
福生院

犬山市
永井ビル

◎篤志会員

犬山市

(株)イワタケ
(株)キトウ商会
小島鋳金工業(株)
(株)新栄工業
センガ(株)

(株)東海SUNKEY
中村電機工業(株)
(株)はぐろ薬局
(株)本多石材店
(株)名鉄犬山ホテル
安田法務測量事務所
(株)綿金
(株)名古屋モウルド
(株)いずみ
タイム技研(株)
大昭運輸(株)
田中産業(株)
(株)吉香
(株)弘法屋本店
シャチハタ(株)
大宝運輸(株)
(株)竹中工務店
中山工業(株)
名古屋紙商事(株)
名古屋鉄道(株)
リテック徳倉(株)
(株)八幡ねじ
東海企業(株)
(株)吉田組
(株)アイトツプ
(株)ヤマワ

扶桑町
大口町

名古屋

北名古屋市
一宮市
各務原市

小牧市
犬山市
大口町
扶桑町
春日井市
名古屋
岐阜市
社本
田中
社本
杉浦
早矢仕
横井
星野
宮明
一行
和悦
尚三
修太
鉄夫

◎協賛会員

犬山市

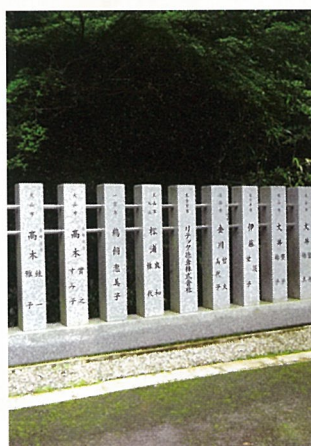
赤川商店
犬山動物総合医療センター
犬山燃料(株)
(株)岩田コーヒー店
資うな久
(株)大金螺子製作所
有大沢瓦店
有大野屋
ごとう歯科
白帆スタジオ
東洋自慢酒造(株)
(有)寅屋
花の香花園
(有)藤原商店
美乃又住宅設備(資)
(株)みやこや
宮田医院
(株)兼松
間瀬社会保険労務士事務所
朝日化工(株)
尾関雨堂
三栄商事(株)
(株)柴田営業所
(有)旅工房
(株)坪井利三郎商店
(有)花貴久
原啓印刷(株)
(株)友和製作所
(有)ソウワ
三和新興合名会社
鈴弥(株)
(株)アイチケン
グリーン産商(株)
(株)三愛工芸

北名古屋市
一宮市
江南市
大阪市
八王子市
水戸市

犬山市
堀江 英治
長谷川 良夫
松本 進平
大橋 収身
小島 康誉
名古屋
東京都

玉垣建立のすすめ

お申し込み受付中!!



玉垣御奉納 順不同敬称略

大口町 田中産業(株)

田中一行

犬山市 田中美枝子・神奈

犬山市 (有)テクノリンク

橋本睦夫・貴美子

江南市 徳田 美子・侑大

十二支恵当守本尊・銘板 敬称略

酉年 小牧市 小澤 和幸

篤信御志納 順不同敬称略

犬山市 渡邊 初江

犬山市 徳永シズ子

一宮市 鵜飼恵美子

寂光院友の会 千手会ご案内

千手会は寂光院に心を寄せて戴いている皆様の集いです
千手会にはわずらわしい制約は一切ありません
千手会はすべて自由参加です 是非ご入会下さい

【催事】

- 一、千手会員は全催事に出入り自由です
一、本紙四頁～五頁をご覧下さい

きりとり線

千手会申込書

(特典はホームページをご覧下さい)

正会員 (一口三千円)

口

円

賛助会員 (一口三万円)

口

円

右申込致します

住所

〒

氏名

電話

()

()

おとし

年 月 日

内陣 特別参拝

月例大護摩祈禱〈祈りの浄火〉

毎月五日・十八日、午前十時半

〈この日、この時の吉縁〉

ご本尊千手観音様の御前で、お願い事を浄書した護摩木を手に直接お参りできます。そのあと、「やすらぎ法話」にもご参加いただけます。

「お護摩」の浄火で清新な自分を取り戻して、観音様から「お願い事」を成就できる力を戴くご祈禱です。



- 護摩木ご志納 三〇〇円

(お願いごと、お名前、お年を護摩木にお書き下さい)

- ご祈禱志納 五、〇〇〇円以上

(大護摩礼授与・ご郵送も可)

- ご祈禱申込 当日の十時迄にFAXかお電話で
交通 名鉄犬山遊園駅東口より直通バス運行



七力月お参りすると「大願成就」!!

ななつき
七七月まいり (心を養う)

- 五日 健康長寿 大随求菩薩縁日
- 十八日 一心祈願 千手観世音縁日
- ・各十時半より、大護摩祈禱と松平實胤山主の「やすらぎ法話」
- ・犬山遊園駅より直通バスあり

七縁の日がご縁日

ななつき
七七月まいりは「月参り」です。いつでも都合のよい日がご縁の日(縁日)【七七月まいり】の受付は年中無休です。

寂光院への連絡方法

- ①電話 0568 (61) 0035
- ②FAX 0568 (61) 5953
- ③〒振替 00800-4-40664
- ④ホームページ

犬山寂光院 検索

発行所

継鹿尾観音

寂光院

〒四八四一〇〇九一

愛知県犬山市継鹿尾山

平成二十九年八月九日発行(第五十五号)